新旧対照表(令和7年4月)

頁	項目(図面名)	箇所	改訂内容		
			内容	旧	新
2	1. コンクリートブロック積み工	(2)	表-1 ブロック積み形式選定フローの修正	河川・砂防では直高に対する掘削勾配が盛土と切土の区分で分かれている。	河川・砂防では、盛土・切土ともに国の基準に統一する。ただし、 $5.0 < H \leq 7.0$ (m) は道路土工擁壁工指針の基準に統一する。
3		(4) ①	河川コンクリートブロック積の根入れ深さの修正	コンクリートブロック基礎の底面が土砂で、前面に水位がある場合には、計画河床から1.0mとする。ただし、現況河床が深掘れしているときは、コンクリートブロック基礎底面を現況河床以下に設置する。	コンクリートブロック基礎の底面が土砂で、前面に水位がある場合には基礎工天端高を洪水時に洗掘が生じても護岸基礎の浮上りが生じないように、過去の実績や調査研究成果等を利用して最深河床高を評価することにより設定するものとする。
		(4) ④	砂防指定地内河川における根入れ深さの修正	軟岩(Ⅱ)及び中硬岩に岩着させる場合は、岩表面から300mmとする。ただし、砂防指定地内河川については、岩表面から500mmとする。	硬岩、中硬岩、軟岩(Ⅱ)に岩着させる場合は、岩表面から300mmとする。
		(4) ⑤		硬岩に着岩させる場合は、岩表面から300mmとする。	ただし、砂防指定地内河川においては岩級区分によらず岩表面から500mmとする。
16		表題、注意書き	該当ページの訂正	コンクリートブロック積み	コンクリートブロック積み 道路・その他 注意書きの一部削除
17		表題、注意書き、新規追加	新規追加	コンクリートブロック積み	コンクリートブロック積み 河川、砂防 P16の注意書きを追記、加筆 寸法及び材料表の記載
18	コンクリートブロック基礎、天端コンクリート	図面番号	上記ページ追加により変更	1-1-2	1-1-3
19	小口止(止壁)	図面番号	上記ページ追加により変更	1-1-3	1-1-4
20	小口止(隔壁)	図面番号	上記ページ追加により変更	1-1-4	1-1-5